

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センターさぎの宮担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 6 年 9 月 18 日（水） 9 時 30 分 ～ 11 時 30 分
2 開催場所	東行政センター 3階 31・32会議室
3 参加者	23名
委員 9名（長上地区：3名、笠井地区：6名）、関係機関 10名、事務局 4名	
4 協議の内容	1.開会 2.前回の振り返り 配布資料に基づき、事務局より前回の振り返りを行った。 3.情報提供 (1)Google マイマップなどの紹介について 配布資料に基づき、事務局より情報提供を行った。 【主な意見・質問等】特になし。 (2)地域におけるひとり暮らし世帯の見守りについて 笠井地区のひとり暮らし世帯の見守りについて、委員より日々の民生委員活動を踏まえた情報提供を行った。 【主な報告内容】 ・ひとり暮らし高齢者は買い物に行くことにも困難さがあると思われる。 ・笠井地区社協が実施する家事支援の存在が大きいという声が多く挙げられている。 ・生活支援に限らず、散歩に同行してほしい、一緒に趣味を楽しむ相手がほしいという声も多く挙げられている。 ・高齢者に限らずひとり親家庭なども見守りが求められると思われる。 ・高齢者の中には「人に迷惑をかけないようにする」という意識があり、困っていても周りに支援を依頼しないという方も見られる。 【主な意見・質問等】 特になし。 (3)笠井・長上地区社協より、家事支援サービス状況について 委員(笠井地区)と委員(長上地区)より口頭で情報提供を行った。 【主な報告内容】 〈笠井地区〉 ・家事支援にあたっては、依頼者には見ず知らずの人に訪問されるのではないかと不安が生じる可能性がある。そのため依頼があった際には、利用者の近くに住む支援員など日ごろかかわりのある支援員が対応できるように配慮している。

- ・より高齢者が分かりやすいチラシを作成してほしいという声が挙げられている。なお、一般的にITを活用した様々な広報媒体や手続き方法が出てきているが、高齢者が利用できるよう留意する必要があると思われる。

〈長上地区〉

- ・ゴミ出しの依頼が多いが、ゴミ出し担当の支援員が急きょ辞めてしまった。今回は代わりの支援員を見つけることができたが、それでも2週間程かかってしまった。支援員も高齢化しており、場合によっては代わりが見つからず対応ができないことも考えられるが、依頼者にとってゴミ出しは切実な支援であるため、そのあたりの対応について難しさを感じている。

【主な意見・質問等】 特になし。

4. 協議事項・テーマ

(1)地図から見える地域の状況や実態について

①GoogleマイマップやjSTATMAPを見て感じたこと、気づいたこと

②GoogleマイマップやjSTATMAPを踏まえた(実際に見聞きした)地域におけるニーズや、求められる取り組み

情報提供や地図を踏まえ、地区ごとに分かれて協議を行った。

【主な意見・質問等】

〈笠井地区〉

- ・笠井地区の東側は買い物ができる場所が少ないが、ネットスーパーを活用したり、家族内で助け合ったりしている世帯が多いような印象がある。ただそのあたりについて、しっかりと実態を調べる必要があるかと思われる。
- ・買い物ができる場所が少ない地域については、移動スーパーはかなり重要な社会資源であるが、巡回の場合は時間が指定されているため、利用が難しい方も見られる。
- ・当地区は浜松北病院の無料バス(きたぞう)も利用できるが、家事支援を利用している方の様子を見ると、自身でバスの乗り降りや受診をできる方は少なく、社会資源はあっても対象者が利用できるかは検討する必要があるかと思われる。
- ・だるま会の家事支援の利用は、笠井上町や笠井新田が多いように思われる。
- ・笠井地区は地理的に山を挟んだり大きな傾斜などがいないため、このような平面的な地図でも、より地域の社会資源やその活用について協議が行いやすいと思われる。

〈長上地区〉

- ・さぎの宮団地付近や与進中付近にひとり暮らし高齢者が多いと思われる。
- ・買い物できる場所がなくても、移動スーパーを導入することで補うことができている地域もあるが、下石田町などまだ導入がない町も見られる。
- ・移動スーパーについて町によっては回覧版を通して広く周知しているところもある。ただ、移動スーパーの巡回拠点から近くても、町が違うことによって周知がされておらず利用されていないところもあるように思われる。

- ・移動スーパーは、買い物をする場だけでなく、人と交流できる場となっている。また、常連客も多く、安否確認の場にもなっている。
- ・家族と同居していても、日中はひとりで過ごしている方もいる。そういった方々の困りごとについて聞き取りをする必要がある。

(2)本日の振り返りについて

- ①本日の協議で印象に残ったこと、感じたこと
- ②各地区の発表を聞いて印象に残ったこと、感じたこと

【主な意見・質問等】

〈主にGoogleマイマップやjSTATMAPについて〉

- ・笠井地区について、東側に社会資源が少ないことを再認識することができた。
- ・社会資源がより可視化され、さまざまな実態を分かりやすく把握することができた。
- ・同じ地区の中でもエリアによって特性があると感じた。家事支援などの実施にあたって利用者や利用者が家事支援を依頼する背景への理解が深まるのではないかと感じた。
- ・協議体に限らず地域での様々な会議でも活用し、地域での取り組みの協議に繋げていくことが重要だと思われる。
- ・活用方法については引き続き協議していく必要があると思われる。
- ・長上地区社協で挙げられた担い手の確保に関する問題意識については、笠井地区でも共通すると思われる。

5.その他

(1)生活支援体制づくり協議体委員報酬の支払いについて

事務局より、協議体終了後に必要書類の提出をしていただくよう再周知した。

(2)令和6年度 長上・笠井地区生活支援体制づくり協議体(第3回)について

事務局より、第3回の日程について確認した。

【協議結果】

日時：令和7年1月31日(金)9時30分から11時30分まで

場所：東行政センター 3階 31・32会議室

【主な意見・質問等】特になし。

5 今後の見通し・ 必要な対応

今回は、GoogleマイマップやjSTATMAPを通してより地域の実態をより明らかにすることができ、それを踏まえて、地域におけるニーズや求められる取り組みについて、協議を深めることができた。

今後は、今回の協議を踏まえ、より地域の実態を把握していくために、実際に地域に出たの情報収集や、地域包括支援センターなど関係機関との意見交換などに努めたい。また、GoogleマイマップやjSTATMAPの協議体外での活用を検討し、地域での取り組みの協議に繋げていきたい。